議 事 録

☐ 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開			部 分 非公開 理 由		
市長	副市長	部長	文書管理責任者	保存期間	30 ( ) ・ ⑩ ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
――	――		――	作成日	令和 7 年 4 月 21 日(月)
課長	課長補佐	係長	係		記録者所属 建設課都市計画係
					職・氏名 係長 所 洋一 印

会議等の名称	第 27 回東御市都市計画審議会	開催日時	令和 7 年 4 月 21 日 (火) 午後 2 時 30 分～4 時 00 分
		場 所	本庁舎 2 階 全員協議会室
主催者(事務局)	建設課都市計画係	司会者	武井課長
出席者	委員 13 名 柳沢吉保委員、澤柳由美子委員、堀育夫委員、山岸智之委員、関昌子委員 村山弘子委員、合津俊雄委員(代理: 上田地域振興局企画振興課長 鎌田宣之) 片桐剛委員、齋藤佳久委員、依田繁二委員、原田京子委員、美斉津正子委員、 酒巻杏里委員 (欠席者なし) 事務局 7 名 山邊都市整備部長、武井建設課長、所都市計画係長、廣瀬主査 中山上下水道課長、金井下水道係長、久保主査 コンサル 3 名 (株)地域総合計画		
傍聴人	川端眞由美		

議 事	・ 委嘱書交付 (審議事項) ・ 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について (その他) ・ 下水道施設統廃合事業の推進について ・ 今後の予定について (都市計画マスタープラン及び立地適正化計画)	(当日配布資料) ・ 会議次第 ・ 委員名簿 ・ 会議資料
決定事項 (要点を箇条書)		
次回報告事項		
次回開催		

発言者	発言内容
事務局（武井）	【1 開会】 定刻となりましたので、令和7年度 第27回東御市都市計画審議会を開会いたします。 本来ですと皆様への委嘱に合わせ、審議会を開催するところですが、令和6年度、令和7年度の2か年で計画策定を行っております「都市計画マスタープラン及び立地適正化計画」の1年目の区切りで進捗を報告させていただくため本日の開催とさせていただきます。 今回は皆様への委嘱書交付と都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の進捗とその他の市における都市計画事業に関する進捗をお伝えすることを目的に審議会を開催させていただきます。 始めに欠席のご連絡をいただいている委員の報告を申し上げます。上田地域振興局長合津俊雄様につきましては、公務のため欠席とご連絡を頂いておりますが、本日は上田地域振興局 企画振興課長 鎌田宣之様に代理出席を頂いておりますのでご報告させていただきます。
事務局（武井）	【2 委嘱書交付】 本審議会委員の委嘱をご快諾いただきました皆様に、市長から委嘱書をお渡しさせていただきます。 委員の任期は令和6年10月1日から令和8年9月30日となりますので、期間中ご尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 （委嘱書交付）
市長	【3 市長あいさつ】 本日はご多忙の中、第27回東御市都市計画審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。 日頃より東御市の都市計画行政に格段のご指導とご鞭撻を頂いておりますことに感謝申し上げます。また今回、任期満了に伴い新たに委員の委嘱をさせていただきましたが、審議会委員をお引き受けいただきました皆様には、重ねて感謝申し上げますとともに、東御市が将来にわたって持続可能な「まち」であり続けるために、ご助言・ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。 本審議会は都市計画に関する事項を調査、審議する都市計画法 第77条の2で定められた機関であります。 本日は、昨年度に審議会の附属機関として「都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定検討委員会」を設立いただき、計画策定についてご検討いただいております内容につきまして中間報告をさせていただきます。 人口減少の時代の中で、持続可能な「市（まち）」であり続けるために市としましても様々な施策を講じている中で、都市計画の観点からどのようにまちづくりを進めていくべきか、ご指導いただければと存じます。

	結びに、委員の皆様のご活躍と益々のご健勝をお祈りいたしまして、私からの挨拶にかえさせていただきます。
事務局（武井）	【4 出席状況報告】 ここで委員の皆様の出席状況について報告をさせていただきます。本日の審議会に委員総数の過半数以上の出席をいただきましたので、東御市都市計画審議会条例第6条第2項の規定により本審議会は成立致していることをご報告いたします。
事務局（武井）	【5 会長選任】 会長は「都道府県都市計画審議会及び市町村都市計画審議会の組織及び運営の基準を定める政令」第4条において「学識経験のある者に任命された委員のうちから定める」こととなっております。また、「東御市都市計画審議会条例」第5条の規定により「会長は委員の互選により定める」となっておりますがどのようにお図りしたら宜しいでしょうか。
村山委員	事務局に案はありますか。
事務局（武井）	事務局案としましては、柳沢吉保委員に会長をお願いできればと考えておりますが、いかがでしょうか。 （異議なし） それでは、本審議会の会長を柳沢吉保委員をお願いしたいと思います。
柳沢会長	（会長挨拶） 東御市は豊かな自然があると伴に高速道路や鉄道など高速交通網、歴史的街道、文化等強みとなる財産を多く持っているところですが、人口減少、少子高齢化、公共施設の老朽化、激甚化していく災害等リスクに対応していかなければならないということもございます。都市計画審議会が担う役割は大きく重要な案件を審議することとなりますが、議事の審議について慎重かつ円滑に進めてまいりたいと考えております。委員の皆様にはより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
事務局（武井）	次に、会長代理の指名を行います。都市計画審議会条例第5条第3項の規定により、会長代理は会長が指名することとされておりますので、会長から、代理者の指名をお願いいたします。
柳沢会長	それでは、会長代理は堀育夫委員にお願いします。
堀会長代理	会長代理挨拶 柳沢会長の基で代理として努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

柳沢会長	※会長代理挨拶後、公務のため市長退席 【6 自己紹介】 (事務局自己紹介) 【7 議事】進行 柳沢会長 本審議会は「東御市審議会等の会議の公開に関する要綱」の会議公開対象となっており、市ホームページにより市民に周知を図ったところ、本日は1人の傍聴人がいらっしゃいますことをこの場でご報告します。 それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。当会の発言内容等はボイスレコーダーによる録音により正式な記録として保存させていただくことをお伝えいたします。 はじめに議事録署名人の指名についてですが、都市計画審議会運営規程第5条では、議事録署名人は議長が出席委員のうちから2名指名することとなっています。 今回は、依田繁二委員、原田京子委員にお願いいたします。 (1)「都市計画マスタープラン及び立地適正化計画」について事務局より説明願います。
事務局 (所)	本日は、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について、検討委員会での検討状況の中間報告をさせていただきます。人口減少の中、持続可能な街づくりに向けて、都市計画の観点からどのように進めていくべきかご指導いただければと存じます。 (別添資料により説明：策定経過、検討委員会の構成、開催状況、委託業務の概要、アンケート調査結果、人口の推移と見通し、都市計画基礎調査結果、公共交通の現状、防災道路の検討状況、携帯電話の位置情報分析、アンケートとの比較、商業施設・医療機関・金融機関の配置状況、北御牧地区の買い物状況、課題認識など) 今回は、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の構成案を提示させていただきますが、今後の委員の皆様の見解に基づき内容については修正していきたいと思っております。
村山委員	【ご意見・ご質問】 人口減少、分散化、高齢化等、日本全国どこでもみられる現象だと思っておりますが、東御市の一番の課題はどのようなことだと考えていますか。
事務局 (所)	東御市においては人口減少を実感としてお持ちの方が少ないと感じています。資料でもお示ししましたが、日常生活が比較的できているという状況が危機感に繋がらない要因でないかと考えており、人口が減少していくことを皆さんとどのように共有していくかが課題と感じています。

村山委員	東御市であれば車で 20 分程度移動すれば買い物ができる環境にありますが、30 分～50 分移動となると日常の利便性が低下してしまうと考えていますので、計画を通して居住や買い物が行えるような施設を緩やかに数十年かけて誘導していく必要があると考えております。 また、高齢化が進み自治会の活動についても、維持していくのが難しくなっていくのではないかと考えています。 地域づくりの会が中心になり地域ビジョンを作成しており、それをマスタープランに反映することで都市計画の観点から支援できることがないか検討していきたいと考えております。 問題を抽出・共有し、良い計画を作っていければと考えています。
堀会長代理	東御市は概ね 5 地区に分かれてバランスよく発展してきている。 将来を考えた時に、人口減少や高齢化等は避けて通れず、持続可能な東御市を作っていく前提で検討しているわけではありますが、5 地区の皆さんは自分の地域に愛着を持っており、衰退しないように地域を盛り上げてほしい、事業を行ってほしいとと考えており、皆さんにどのように実態を客観的に捉えてもらうかを苦慮している状況があります。 審議会の委員の皆さんが東御市の将来像をどのように考えているかをお聞かせいただき、検討委員会に生かしていきたいと考えますのでご意見をお願いしたいと思います。
柳沢会長	都市計画マスタープランの地域別構想について、各地区でのワークショップを行っていく予定となっております。地区のコミュニティが維持できて活性化していくことが肝心となるが、事務局としてどのような方向で皆さんとワークショップを行うのかお聞かせください。
事務局（所）	この計画を事前に説明しないまま、各地区でワークショップを開催してもわかりづらいと検討委員会の中でもご意見がありました。 現在、地区別の区長会が開催されていますので、そこで東御市の現状をお話させていただいています。1 人でも多くの方に課題を共有していただき、自分事として捉えていただきたいと思います。 ワークショップ、説明会については、事務局案をお示しし、各地区の実情をお聞きしながら計画に落とし込んでいければ、実行性のある計画になるのではないかと考えておりますので、そのあたりを注力し地区へご説明したいと思います。
堀会長代理	小諸市が市街地に病院や市役所を集約させて機能的な拠点を作り、周りに地域拠点を作っており、東御市も同じような形になるのかなと思っております。上田市も合併し、真田、武石、丸子地域があり中心拠点は旧市街地

柳沢会長	となっておりませんが、真田、武石、丸子が東御市でいう5地区にあたりと考えられます。5地区について、将来的にどのようにしていくかが課題となりますが、住民の皆さんの納得が無ければ進めていくことができないので、多くのご意見をいただき計画に反映していきたいと思っております。 東御市ではどういう生活ができていけば住みやすいのかということを考えなければならず、その中で災害等から安全安心をどうやって確保していくかは課題になると思う。ソフト面も大事だが、都市計画としてはどのような施設を配置していくかを検討していく必要があると考えます。 事務局から車で20分程度なら距離抵抗無く生活できると仰っていましたが、30分40分掛かる例はあるか。
事務局（所）	他のまちを車で走ってみると、住宅はあるが商店がまばらでコンビニエンスストアがライフラインだと感じることもあります。 東御市では、湯の丸地区からインター周辺の商業施設まで下って来ますと30分程度掛かり、市内で一番距離が長いのではないかなと思っていますので、市内で30分あればどこかしの商業施設にアクセスできるのではないかと考えております。
柳沢会長	年少人口で言えば、教育機関へのアクセスも重要な課題になっていくと考えられる。資料2-2 100ページをみると教育機関に関する記述がなく、年少年齢（子）が暮らしにくい場所に生産年齢（親）は疑問を持ってしまうことも考えられます。 また、高齢化が進んでくる中で福祉施設へのアクセスも課題になると感じています。 医療機関についても東御市として充足できているか、できないのであれば、近隣市と行き来をすることもありうるのでそのあたりも考えていく必要があると感じています。 都市構造の評価について、事務局から補足説明をお願いしたい。
事務局（所）	資料2-1の30ページをご覧ください。 こちらのグラフは通常ですと人口や財政規模が同じ飯山市や大町市と比較するものですが、中々実感が湧かないと思いますので、近隣市の上田市、佐久市、小諸市と比較をしております。 東御市の強みとしては、小売商業床面積あたりの売上高が高いことと、最寄り緊急避難場所(公民館)までの距離が短いこと、交通事故死亡率が低いこととなっております。 弱みとしては、日常生活サービス施設の徒歩圏充足率が低いこと、高齢者徒歩圏に医療機関がない住宅の割合が低いこと、保育所の徒歩圏0-4歳人口カバー率が低いこと、高齢者徒歩圏に公園がない住宅の割合が高い

	こととなっています。 市の総合計画の中でも近隣に優れた都市機能があれば、近隣市と連携しながら利用していきましようということを謳っています。東御市に大型商業施設を誘致することは難しいので、近隣市にあるものは利用し、東御市の強みをさらに伸ばしていくことが市として存続していくために重要だと考えています。 委員長から施設へのアクセスの話がありましたが、資料2-2に様々な施設の徒歩圏(半径800mの円)の資料があります。 東御市は地形的に坂ばかりですので、一概に800mが徒歩圏と言えない状況もありますが国の指針に基づいた形で記載しております。 小学校の関係については、42ページをご覧ください。 各小中学校の徒歩圏を示したものになりますが、ほとんどが徒歩圏の範囲外ということがわかります。 昔に比べ安心安全ということで保護者の送迎が増えていると感じますが、一方で子供の体力が低下している現状もございますので、そのような部分についても課題と感じています。
柳沢会長	ご夫婦でお勤めの方が増え、子育て支援施設が必要になってくると感じるが、十分に施設があると言えない状況の中で、そういった世帯がどこに住んでおり、施設がどこにあるのかが重要になってくると思います。 地区に入り意見交換する中で若い世帯の生活様式なども明らかになってくれば良いと思います。
原田委員	私は田中地区に住んでおり、スーパーや郵便局、小学校も3クラスあるためか、それほど少子化を感じていないのですが、子どもと交流の場でもあった老人会も減ってきています。 せっかくいいプランができて周知されてなければ意味がないので多くの皆さんに知っていただける方法を考えていただきたい。
村山委員	若い人たちの集まりで今後の東御市のあり方を考える場を作ってほしいと思います。各地区の特色、各世代の希望等、若い世代の意見を吸い上げてほしいと思います。
柳沢会長	実際に生活している方々の意見や想いを吸い上げ、東御市の都市の維持の考え方を説明していく中で合意できる部分や不足している部分の意見を吸い上げていただければと思います。
堀会長代理	20年ほど前とは異なり福祉民生関係の予算が多く、農政建設関係の予算は少ない状況となっている中で、水道、下水道、橋梁等のインフラが老朽化してきており、これからは更新に費用が掛かると予想されます。

	都市の構造をきちっと作っておかないと持続が難しい時代となり、都市計画の観点からの将来像を見据えることは、大変大切なことだなと感じています。
柳沢会長	財政面から考えても、相当数の年数が掛かるのですが、住む範囲をコンパクトに集約縮小し、ある程度のレベルで生活をしていくという方向性で進めていくことが必要になってくると思います。このあたりを説明会でしっかりと説明し、ご意見いただければと思います。
坂巻委員	市は移住定住を進めていると思いますが、空き家の活用や移住者の意向等の資料があれば良いと感じます。
事務局（所）	お手元の資料にはなく申し訳ないのですが、不動産会社によると東御市の空き家は人気が高く、成立率が高いようです。移住してくる方は、ICや新幹線など交通アクセスが良く東京へ行きやすい、また、自然が豊かで環境がよいということで移住されるという認識があります。 一方で、東御市へ移住してきたのですが、高齢になり、近くに施設がない、買い物ができないという状況で生活が難しく都会へ戻られた事例もあります。 ご高齢になり車の運転ができなくなった際に商業施設等の近くに住めるような誘導をおこなっていくことが全ての世代において東御市で住み続けていただけることに繋がると考えております。
柳沢会長	長野市でも松本市でも移住場所を誤ると帰ってしまう。どこに住むのが便利なのか、高齢化してくれば移動に支障がでてくるので、そのような状況でも住み続けられる場所を提供することが重要と考えます。
山岸委員	説明会などを行う際にいろいろな意見が出てくると思いますが、全ての意見を反映できればいい計画にはなるかもしれませんが、お金の課題も出てきてしまう。市の方針としてコンパクトシティ構想にしたい流れなのかなと思うのですが、地元への説明会に入る前にその方向性は明確にしたほうがよいと感じるが、市の考えをお聞きしたい。
事務局（所）	立地適正化計画が目指すものは、コンパクトシティ+ネットワークということで、東御市は小学校区単位の地域づくりを進めており5地区に拠点があり、その拠点を公共交通で結ぶイメージをもっています。その拠点は施設があり利便性が高い場所であり、持続して住み続けていただけるだろう場所になると思います。 現段階では各地区の小学校の周辺を拠点と位置付けた案で考えておりますが、地域の皆さんからすれば実情として拠点になり得ない場合もある

	と思いますし、震災リスク等を含めて今後検討する必要があると思います。 各地区に地区拠点を立て、そこに住み続けられるように緩やかに集約する計画にしていきたいと考えておりますが、法的な拘束力を持った拠点は用途地域内にしか定めることのできないので、用途地域が無い北御牧と和地区は市の独自の誘導区域を決めるようになると思っております。
事務局（山邊）	今資料を回させていただきましたが、基本的な考えとしては、昔は地域に各山（人口密度）があったが、高い所が減り、現在は周辺に拡散してしまっている状況になります。それを基のように治めていく方針で考えていきたいと思っております。
山岸委員	今の資料を基に、市の考えを示した上で、各地区で生活している方のご意見をお聞きできると、課題等がより明確になってくると思います。
柳沢会長	地域説明会では、いろんな意見がでて収集がつかなくなる可能性もあるため、市から基本的な都市の構造の方向性を示し、5地区が明確であり、どのように扱っていくかを提示し、それに対しご意見をいただく形で進めていただければと思います。
堀会長代理	都市計画は土地利用規制、土地誘導、都市施設の整備であり、その裏付けは財源であります。立地適正化計画を作成しなければ国の交付金が付かないという点も考慮すべきであると感じます。
事務局（所）	立地適正化計画を作成しなければ社会資本整備総合交付金の重点配分から外れるということがございます。 また、誘導区域を設定した中で施設の集約化、複合化、除却に対して交付金の対象にできる可能性があります。限られた財源を効果的に活用するためにも、計画策定が必要だと考えています。
片桐委員	交付金をもらうために計画を作ると思われてしまうのは残念。規制・誘導を図り、人を集約する、その結果、都市計画の一環として国の方から交付金が活用できます。まずはまちをどのようにしていきたいか、その財源としては交付金が使え程度の認識でお願いしたいと思います。
事務局（武井）	（議事終了 議長退任） ご審議ありがとうございました。本日のご意見を踏まえ、市の方向性を明確にし、地元区へ説明を行い、地区の集約化に関する議論を進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

下水道係長 金井	【8 その他】 (1) 下水道施設統廃合事業の推進について (資料に基づき説明。)
事務局 (所)	(2) 今後の予定について 今後の都市計画審議会の開催予定ですが、次回は11月頃を予定しております。それまでの間に検討委員会を4回ほど開催し、マスタープラン及び立地適正化計画の推進を図ります。11月の審議会でご質問やコメントをいただき、2月に答申いただくことを現在考えております。具体的な日程は改めてご案内いたします。
事務局 (武井)	【9 閉会】 皆様本日はどうもありがとうございました。 以上で令和7年度第27回東御市都市計画審議会を閉会とさせていただきます。皆様、お疲れ様でございました。 16:00 閉会